

設立趣意書

《地球が有限であること》、《生物多様性が大切なこと》を実感する時代となりました。地域や生活文化の多様性が生物多様性に密接に結びついています。

今、私たちはこの取り組みを通じて、【地球の健康、地域の健康、心身の健康】を考え、行動していきたいと思えます。

「エコノミー」と「エコロジー」の語源は、共に古代ギリシア語の「オイコス」。その意味は「人が集まり生活する地域社会」や「つながり」を表すとのことです。

大量消費・大量生産型での人類の唯我独尊的な経済活動が、生態系を崩し社会や経済を滅ぼすことが判ってきました。

地球環境を衰退に向かわせることなく未来に向かって社会全体が正常に機能し続けていくためには〈持続可能な成長〉一市民・一企業を越えて、それぞれの日常行動を地域全体の動きとして連携していくことが重要と考えます。

一市民・一企業の努力だけでは、サステナビリティは描けません。

市民、行政、企業、団体、大学、専門家が連携し、それぞれがエコについて考え、行動すること。そして地域を構成する一員として、お互いが連体し、補完していくこと。

その協働の場として街エコ推進協議会を設立することといたしました。

この取り組みを通じて、低炭素社会、環境共生社会、循環型社会を皆の力で実現していきたいと思えます。

豊かな自然環境や豊かな生活文化は、私たち人間にとっても持続的で健康的に暮らせる環境だと考えます。そこにしかない自然資本（里山、都市緑、農地、河川、沼など）や食文化・生活文化を育みながら、自分のためにエコを考え、楽しくエコ活動をしていく。

そのような自然体のエコを生活に浸透していくことを目指します。

街エコ推進協議会では、「楽しくエコ」「創る・遣う・続ける」を念頭において、以下の活動を行います。

- 1、エコに関する全般的な見える化を推進します。そして地域の智恵を出し合います。
- 2、街エコの見える化行動を推進します。そして、地域の取り組みに広がっていきます。
- 3、カーボンオフセットや街エコポイントなどの普及を推進します。そして地域の繋がりを深めていきます。